

記入例

種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者名

豊後太郎

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準額の特例		課税標準額 <small>(※ここに記載の額は平成 年度分の額)</small>	増加事由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
1	2		太陽光発電設備(10.3KW)	1	5	6	3	11,300,500	17							
2	1		太陽光発電基礎工事	1	4	28	5	1,000,350	15							
3	1		太陽光発電フェンス工事	1	5	5	3	1,200,000	10							
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
小計								13,500,850								

「資産の種類」
1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶 4. 航空機 5. 車両及び運搬具 6. 工具、器具及び備品の種類に対応する1～6までの数字を記入してください。

「年号」
3. 昭和 4. 平成 5. 令和の年号に対応する数字を記入してください。

「耐用年数」は必ず明記してください。

太枠は必ず記載してください。

●注意点
1 取得価格を算定する場合の消費税の取り扱いについて
法人税又は所得税の会計処理において、税抜経理方式を採用している場合は消費税を含まない金額となり、税込み経理方式を採用している場合は消費税を含んだ金額となります。なお、消費税の納税義務が免除されている免税事業者は、税込み経理方式によります。(国税庁 タックスアンサー NO. 6375)
2 償却資産の申告の対象とならないものについて
以下のものは償却資産の対象とならない一例です。
・土地の取得費、家屋の建築費
・その他無形減価償却費(例:引き込み線工事を行うための電力会社への負担金)